

## 県内高校生で初の快挙 「甲種危険物取扱者」試験に合格 そこには夢を追う学生の笑顔があった…



降旗 瑞稀さん(18歳)  
岡谷工業高等学校工業化学科3年

**Q：今、高校3年生ですか？**

はい、岡谷工業高校工業化学科3年です。

**Q：県内ではじめて高校生で甲種危険物取扱者試験に合格したそうですが？**

高1から高2の時に危険物取扱責任者の乙1から乙6まですべて取得しました。甲種危険物取扱責任者は大学生や実務経験のある社会人向けだったそうですが、昨年、法改正があって受験できるようになりました。

先生から参考書や問題集を借りて勉強しました。試験のときに「ああ、これやった問題じゃない」って思い出すことができるように分厚い参考書にも取り組んできました。そうですね、バス通学の時間や授業の休み時間も惜しむくらいにして1日4時間は勉強しました。薬品の分類も、それぞれ性質がちょっとずつ異なるので、それを全部覚えなくっちゃいけないんです。私は書かないと覚えないのでずっと書いていました。試験までできるだけ“引出”を多くしようと頑張ったんですけど、それでもレベルが高くて合格できるかどうか不安でした。

結果通知の圧着はがきが届いたんですけど開けられなかったんですよ。合格を知った時は、それはもう嬉しくって、嬉しくって。

**Q：なぜ、試験を受けようとしたのですか？**

家業の精密機械部品印刷業を継ぎたかったんです。精密機械部品印刷とはデジカメや時計などの精密機械の部品に文字などを印刷する仕事ですが、多くの化学薬品を使っているため資格を持っていた方が将来役に立つと思ったからです。



**Q：高校生ものづくりコンテスト県大会で優勝して北信越大会に出場するんですって？**

おかげで化学分析部門で優勝できました。夏休み返上で特訓してきたんですけど、試験当日は検査官2人がずっと見ているし、緊張して試薬を入れる手が震えていたんです。

1時間後に発表と表彰式があったんですけど、もう心臓がバクバクしました。優勝って聞いたときは、他校のレベルが高かっただけに心の中でガッツポーズをしました。

**Q：今一番やりたいことは何ですか？**

仲良しの友達が他校にいて「一緒に遊ぼう」って誘ってくれるんですけど、今まで学校で缶詰状態でした。だから、今は思いっきり遊びたいですね。(笑)

**Q：将来の夢は何ですか？**

大学へ行きたいと思います。精密部品などは人の手に触れるものが多く、印刷に用いる化学薬品の中身成分の分析を求められるようになってくるなど、今の知識だけでは不十分だったわかったんです。

できるだけ多くの知識と技術を身につけて夢を引き寄せたいんです。



「合格できたのは弓道で養った集中力ですね」と話す横顔に、フレッシュな若い力を感じました。大きく伸びて羽ばたいて欲しいと願うばかりです。

## “あいとぴあ”男女共同参画フォーラム

### 講演 「私は仕事も家族も決してあきらめない」



講師 佐々木 常夫さん

去る平成21年6月27日(土)“あいとぴあ”男女共同参画フォーラムを開催し、東レ経営研究所 代表取締役社長 佐々木 常夫さんから御講演いただきました。

#### プロフィール

1944年秋田市生まれ。1969年東京大学経済学部卒業後 東レ株式会社に入社。1993年プラスチック事業企画管理部長、1996年繊維事業企画管理部長、そして2001年、東レ同期トップで取締役となる。経営企画室長を勤めた後、2003年には、株式会社 東レ経営研究所 代表取締役社長に就任し現在活躍中。また、2005年から経団連理事、2008年から大阪大学法学部客員教授として教鞭をとる。著書「ビッグツリー 私は仕事も家族も決してあきらめない」[部下を定時に帰す仕事術] (WAVE 出版)

#### ●自閉症の長男

私には子供が3人います。一番上の子は、自閉症という障がいを持って生まれました。最初はわからず、普通の子だと思っていました。2歳ころから、ちょっと変わっているところがあり、自分のペースで生活をしていました。

幼稚園は手に負えずに退園させられ、専門の病院へ行っても自閉症らしいということがわかりました。

長男は意味の無いものを順番に覚えるくせがあり、小学校2年生の時に漢和辞典を覚え、2ヶ月半で中学3年までの漢字をすべて覚えしました。あるとき山へ連れて行くと、このほか喜び、毎週連れて行けといるので、土曜日は家族5人で必ず山へ行くという生活が続ききました。

ただ学校では、色々問題を起こしました。最初は家内が学校に行っていました。先生や他の父兄と話をしなくてはならないので、それが苦手な彼女が行くより、私が行くようになり小学校から中学3年まで、毎月学校へ行き、PTAにも出席しました。

ちょっと手を煩わせることがありましたが、それでも家族5人楽しく暮らしていました。

中学に入ってもあいかかわらず長男は、独りの世界。校庭の片隅で歌なんか歌ったりしている。彼は歌を聴いたら一回で覚えるので、歌は上手で、カラオケ大好き。友達とは全然遊ばない。自分の好きなことしかやらない。

彼は恐がりなところもあり、少しいじめるものすごく怖がるので、そのうちみんなが、おもしろがっていじめるようになりました。

私は、担任の26歳の先生に、長男の事をクラスで話したいと言ったが、学校側に、「父兄が教壇に立つことはありえない」と断られました。そこで、クラスのリーダーの男の子に「みんなを家に連れてきてくれ」と頼み、全員ではなかったものの25人くらい来てくれました。

家の庭で、「自閉症はどういう障がいか」「君達健全な人間には、それをサポートする義務がある」と

いうことを話しました。いろんな質問も出たりして、2時間半くらいかかったのですが、次の日からいじめがなくなりました。いじめをしていたのは4、5人。みんなが傍観者になっていたのですが、傍観していた子供達が止めに入ってくれているようになったのです。子供はキチンと説明すれば、わかってくれる。

長男の中学校の成績は最悪でした。ところが高校に入学したら得意の丸暗記で、彼はクラスのトップになった。この時私はこの子は少し変わっている子だけど、なんとか生きていけるんじゃないかと思えました。

しかし、高校3年時に幻聴が聞こえだし、自閉症の子供の15%くらいに幻聴が聞こえるんだそうですが、勉強どころではなく、やっと高校を卒業し、大学進学は諦めました。

#### ●パートナーについて

私のパートナーの話します。1984年に急性肝炎で入院後、全部で43回入院。1回の入院は平均1ヶ月半ですから年間の内、半分くらい入院生活の年もあった。うつ病と判ったのは97年辺りで、それまでわからなかった。ちょっと変わったなとは思ってはいませんでした。

平成12年、自殺未遂。会社に電話がかかってきて、「今から死にます」と言う。びっくりして飛んで帰ると、体中、血だらけ、2週間入院しました。この時職場で、家族の病気や、長男の障がいの話をしました。家族から電話が来たら、必ず連絡すること。会議中であろうが、出張中であろうが、必ず連絡して欲しい。でないと死に目にあえない可能性がある。

次の年、2回自殺未遂。最後の自殺は普通なら死んでいました。たまたま、娘を見つけ、助かりましたが、正直さすがの私も、自分の人生半分終わった、と絶望感に襲われました。この人は今日助かってもまた明日もやるかも知れないと思ったのです。私は24時間見張っているわけにはいかない。ああこの人は死ぬんだ。というふうに思ったのです。

家内がなぜうつ病になったかということ、3つくらいの理由があります。ひとつは自分の責任で自閉症の

子をつくってしまったと思った。これは、私にも責任があるんですけど、彼女はそう思ってしまった。この人は家事はパーフェクト部屋はピカピカですし、料理は手を抜かない典型的A型。そういうことにプライドを持っていた女性。そういう女性が何もせず、病院にいる。仕事の忙しい旦那が家事をし、子供の面倒を看ている。私は居ないほうがいい。私は離婚したほうがいい、私は死んだほうがいい、と自分を責めるんです。

次に私との性格の不一致。私は明るく前向き、友達沢山いる方が彼女はどうちかかという独りの方がいい。家へ突然会社の人を連れて行くなんて決して許されないこと。私は当たり前のことだと思っていました。

妻は沢山入院しているが、長男も2度ほど入院しています。午前中に横浜の彼の見舞いいき、午後東京の妻のところに見舞いに行くという、病院のはしごをしていたときもあります。

#### ●どうやってこの苦境を乗り切ったか

84年から87年、パートナーはほとんど入院生活、こどもは中学2年、小学6年、小学5年。毎朝5時半に起き、4人分の朝食と3人分の弁当を作りました。当時給食はなかった。私はちょうど課長になった年、8時前に出社し、自分と部下の段取りをしていた。夕方時間が切られているから、早く会社に行ったのです。夕方6時には会社を出て7時に帰宅。当時は今のようにスーパーやコンビニで天ぷら、野菜サラダを買ってきて並べればいいという時代ではなくて、材料から作らなくてはいけなかった。子どもたちはおなかをすかせて待っている、手伝わせながら、急いで作って食べさせ、宿題をやらせ、お風呂に入れて明日の準備をさせて寝かせてと。そのあとちょっと仕事をする生活です。

土曜日は一週間ぶりですから彼女の所へ見舞いに行き、できるだけ長くいてあげる。それから日曜日は一週間分の掃除と洗濯、買い物をしました。

会社の仕事は管理職になり、スタッフ部門で会議を設営するところだったので、会議は半分やめました。残った会議は所要時間を半分にし、会議の資料は事前提出を義務づけました。長い資料は許さない。簡潔な資料にしろ。資料を読んできた前提で、すぐに議論を始める。この頃から部下に対して、「ビジネスは予測のゲーム、これが起こったら次に何が起こるか予測し、先手、先手で仕事すること。仕事に追いかけるな」と言うようになりました。趣味と交友範囲は絞りました。

ただ私が両親に感謝しないといけないのは、持って生まれた楽観主義といいますが、楽天主義。私の書いた本「ビッグツリー」は「神様は私に試練を与えたというか、ちょっといたずらをされたようだ」という文章から始まります。ちょっとした、いたずらなら、その内には飽きるだろう。来月になれば家内は治るんじゃないか、来年になったらいい日があるんじゃないか。いつも思っていました。まさか足掛け7年かかると思わなかった。

#### ●親愛なる美穂子へ

私にとってラッキーだったのは、5年生の女の子「美穂子」が、母親ゆずりで料理が大好きだったことです。私の帰宅が遅れると夕食の仕度をしてくれた。この後も障

がいの兄の面倒をみてくれ、私は彼女を「戦友」と呼んでいました。最大のサポーターだった。

美穂子は私に似て、前向き、友達沢山居ますが、ちょっとメンタルが弱い部分がありました。彼女は次男と暮らしていた時に、友だちと先生のごことで悩んで、鬱っぽくなったことがあったのです。2ヶ月ほど精神科に連れて行きました。あるとき彼女と一緒に暮らしていた次男から電話があり「ミーちゃんが死にたいと出て行った」と言う。丘の上から飛び降りたのですが、2週間のけがですんだ。岩場だったら死んでいました。次の日は仕事があり、話ができないから病院で手紙を書いたのです。彼女はまた眠っていました。

その手紙の事をすっかり忘れていましたが、本を書く時に「お父さんこれ使ったら」と彼女から渡され10年ぶりに手紙を見ました。2年位彼女が持ち歩いたので、ほろほろになっていました。

#### 『親愛なる美穂子へ』

今回は、お父さんの人生でとても衝撃的だった。何度も生きていて欲しい、と祈り続けた。あなたの悩みがどんなに深い悩みでも、命を絶つのは許されない。あなたはお父さんにどれほど愛されているか、わかっていません。お父さんがあなたほど愛した人はいない。繊細なあなたの本質をお父さんが一番よく知っている。なによりも、あなたの生き方が大好きなのです。この家を支えて来たのはあなたとお父さんだったでしょう。あなたは類稀なお父さんの戦友なのです。』

気が高ぶっていて大きさに書いていますが、嘘は書いていません。彼女はその後、精神科に通わなくなった。軽いうつ病かと思っていたが彼女に聞いたら「あの手紙を読んだら、病気はどこかへ行ってしまった。何を自分はずまらないことで悩んでいたんだろう。人生観を変えようと思った。自分には身近に大切な人が居るんだ。」ということを書いていました。

#### ●長いゆめから覚めたように

あれだけ入院を繰り返していた家内ですが、2003年以降一度も入院していない。この年は私が東レ経営研究所の社長になった年。私は社長ですから、会社の仕事のやり方は私に従ってもらう。つまらない会議はやらない。会議は短くする、ビジネスは予測のゲーム、忙しいときの残業は仕方ないが普段は全員6時に帰ってもらうようにしました。

家内は、私が東レに勤務していたときは、一日、5~6回電話してきていたが、私は帰れない。でも経営研究所の社長になってから、やりくりして3回帰って帰った。そうしたら、「もう帰ってこなくていい」と彼女に言われました。今まで一度も帰ってこなかった旦那が今回帰って3回帰り、いざとなったらサポートしてくれると思い、その安心感が少しずつ病気を治したと思います。



#### ●障がいや病気は臆がましいことではない

周りに重荷を背負った人が案外多い。日本には身体障がい者が350万人、うつ病が500万人、これにニート、シングルマザー、がん…日本にいる人の5人に1人がなんらかのハンディを持っていることになります。にもかかわらずこの世の中は、健康者で構成されているように見える。なぜか、皆言わないからです。自分の家族にうつ病がいるとか自閉症がいるとか会社で言わない。なぜ言わないんですか？言ったら恥ずかしい？出世の妨げになる、いろんなことを考えるんでしょうね。でも私はあるときから家族のことを全てオープンにしたが、そんなマイナスはなかった。プラスはいっぱいあった、みんながサポートしてくれたから。

先輩で、「プライベートを会社に持ち込むな」と言った人がいるが、そんなことは無理。重度の認知症の親を持っている人は待たないですよ。

子供が40歳の熱を出したら帰らなくてはならない。その人の家族のことを細かく知る必要はないが、大体どんなことがあるかは、家族のことを理解する必要がある。チームで仕事をしているお父さんがあなたほど愛した人はいない。繊細なあなたの本質をお父さんが一番よく知っている。なによりも、あなたの生き方が大好きなのです。この家を支えて来たのはあなたとお父さんだったでしょう。あなたは類稀なお父さんの戦友なのです。』

障がいや病気は臆がましいことではない。いつ自分に起こるかかわからない。誰でも等しく持つて居るリスクです。

私は家族の病気と障がいのために自分の時間を確保しなくてはならなかったが、それは誰でも同じ。友達と話をしたい。映画を見たい、ジムに通いたいなど、いろんなことをしたいが、できない最大の障がいは「長時間労働」と「非効率労働」です。仕事の成果と長時間労働とは必ずしも関係ないと思います。



#### ●人間の不幸の程度は、体重計などで測れるものではない

よくこんな生活できましたね。佐々木さんの真似は出来ない。と言われるが、あなたが私の立場ならやるのですよ。人間の不幸の程度は、体重計などで測れるものではないのです。誰でもできる。その立場に立っていないから、やらないだけなのです。

#### ●私を支えたもの

家族が大きな支えでした。そして、苦しい私を支えたのは仕事です。自己実現欲求の強い私は、仕事が好き。こんな楽しい面白いことはない。辛いこともあるが、家族のサポートだけしていたのなら心が減ってしまふ。会社で好きな仕事ができたら、何とか持ちました。

#### ●「愛とは責任だ」

よしもと ばななが「ビッグツリー」を読んだ感想を、ブログで「佐々木さんは愛とは責任であるということ、とことんやった人だ」と書いていた。

「奥さんと離婚を考えたことはありませんか？」と聞かれ「ありません」と即答した。これは自分が決めた結婚だから。自分が決めた結果、いろんな事が起きたが、大きさに言うと神さまに与えられた宿命とも思う。それを担いでいくしかない。責任意識という悲しい。愛情といういいのでしょうか…

人として生まれたからには、自分の家族、社会に、何らかの事をしていかないといけない。程度の差はあるが、人として当たり前なことではないかと思えます。

今の仕事が終わったら、恐らく障がいのための何か行動をしていきますが、こういう経験をさせてくれた、神様に恩返しをしたいと思えます。社会的責任を果たさなければいけない気がしています。

## ドメスティック・バイオレンス 防止セミナーのお知らせ

■期 日 平成21年10月31日(土) 受付 12:30~13:00 講演会 13:00~15:00

■会 場 長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”ホール

### 講演 「ドメスティック・バイオレンス」

講 師 小西 聖子さん (武蔵野大学教授・臨床心理士・精神科医)

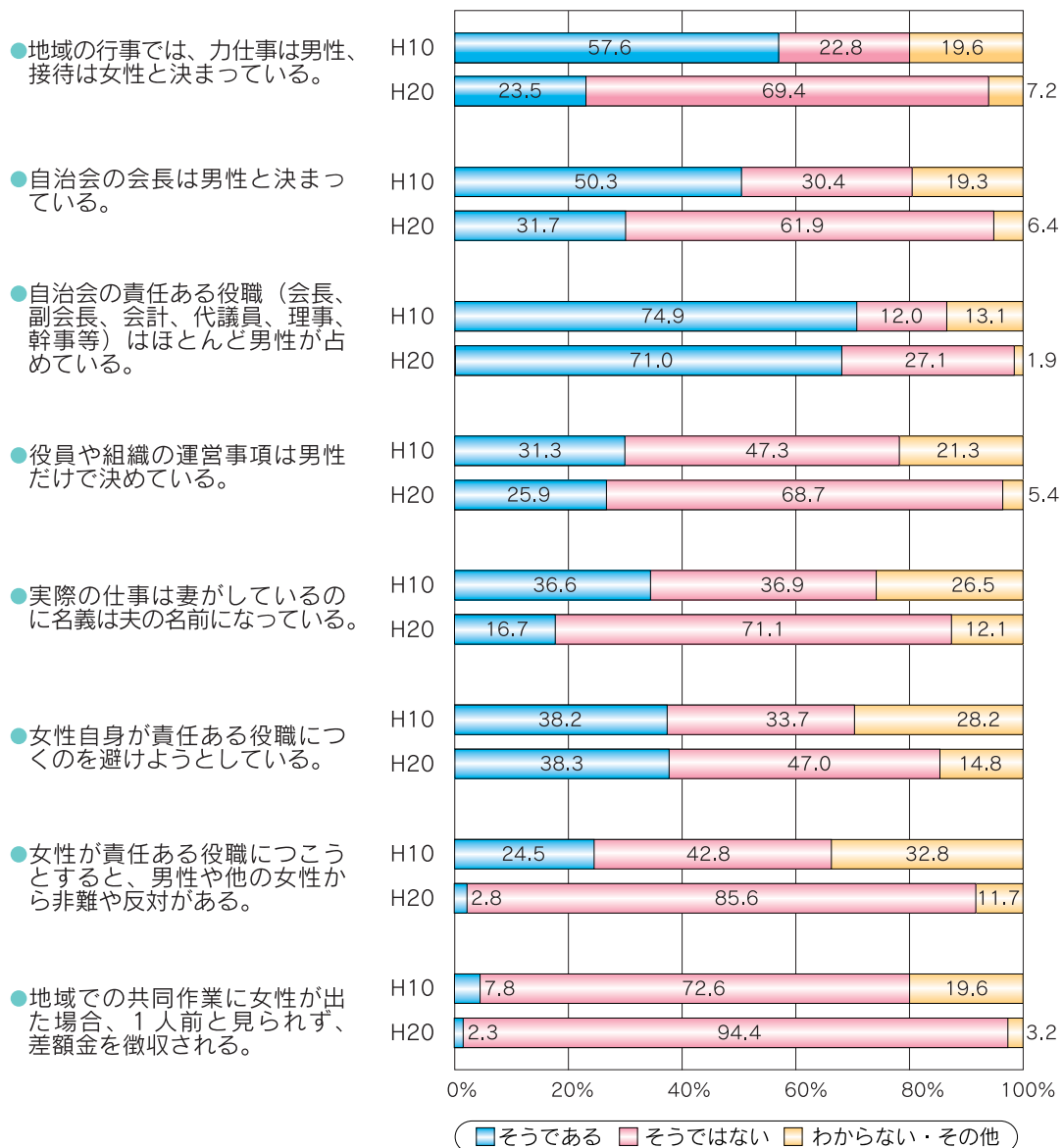
# 地域自治組織における 男女共同参画実態調査結果の概要

## 人権・男女共同参画課

県では、昨年10月から今年1月にかけて県内の自治会長（区長）さんにご協力いただき、「地域自治組織における男女共同参画実態調査」を実施しました。調査結果の概要は次のとおりです。

### ① 地域にある男女差について

#### 地域にある男女差



#### 調査の対象

長野県内 11 市町村の自治会長（区長） 575 人

(1) H20 は今回の調査結果。

H10 は平成 10 年 11 月に県内の満 20 歳以上の男女 1,000 人を対象に行った調査です。

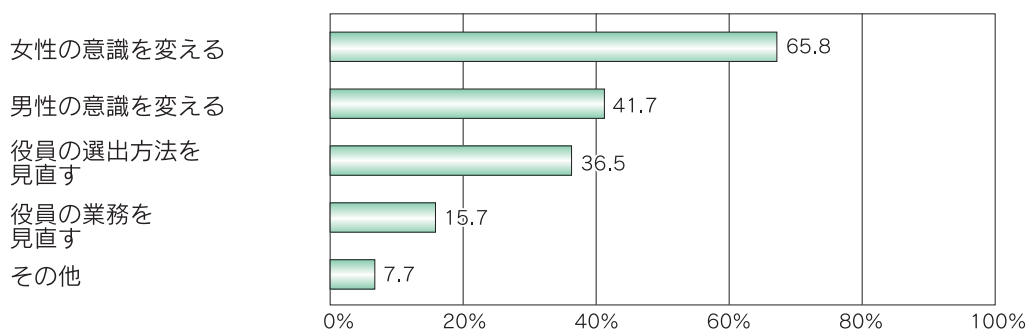
(2) グラフ中、端数処理のため、合計が 100% とならない場合があります。



## ② 女性役員について

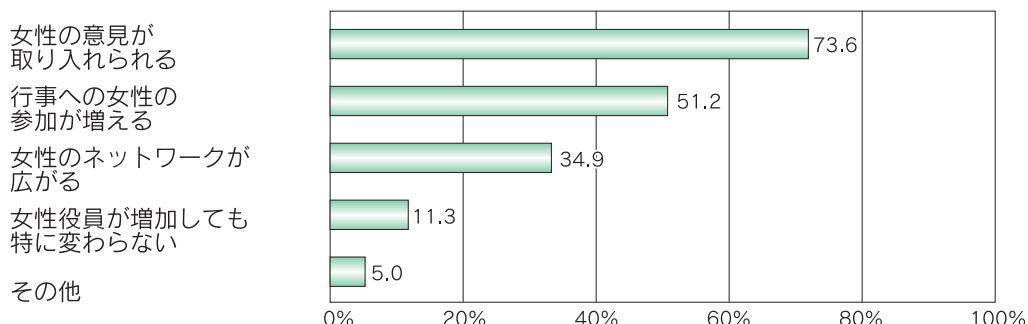
女性が役員になるために必要なことは何かということについて、「女性の意識を変える」が65.8%で最も多く、次いで「男性の意識を変える」が41.7%となっています。また、「役員の選出方法を見直す」が36.5%、「役員の業務を見直す」が15.7%となっています。

### 女性が役員になるために必要なこと（複数回答）



女性役員が増加することの効果については、「女性の意見が取り入れられる」が73.6%と最も多く、次いで「行事への女性の参加が増える」が51.2%、「女性のネットワークが広がる」が34.9%となっています。

### 女性役員が増加する効果（複数回答）



今回の調査と平成10年度調査は、対象が異なるため調査結果を単純に比較できませんが、両者を比較すると、行事における性別役割分担や女性が役職につくことへの反対は減少している傾向が見られます。一方で、女性自身が役職を避ける、責任ある役職が男性で占められているなど変化がない項目もあります。

自治会をはじめ、公民館やPTA等の身近な地域組織における活動では、女性が大きな役割を果たしています。平成21年4月現在の長野県における女性の自治会長、公民館長、小中学校PTA会長は、それぞれ0.8%、6.2%、3.5%、と全国的にみても低い状況にあり、意思決定に関わるリーダーはほとんどが男性で占められています。

住みよい豊かな地域づくりのためには、その方針づくりや決定の過程に女性も積極的に参加していくことが必要ではないでしょうか。

発行日 平成21年9月15日

発行 長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”  
〒394-0081 長野県岡谷市長地権現町4丁目11番51号  
TEL 0266-22-5781 FAX 0266-22-5783

相談専用電話 0266-22-8822

E-Mail [aitopia@pref.nagano.jp](mailto:aitopia@pref.nagano.jp)

URL <http://www.pref.nagano.danjo-aitopia.jp/>